

- ア よく考える
- イ どちらかといえば考える
- ウ どちらかといえば考えない
- エ 考えない

後 \ 前	ア	イ	ウ	エ	計
ア	3	1			4
イ	2	15	2	1	20
ウ			14	1	15
エ		1	2		3
計	5	17	18	2	42

有意差は認められないが、その変容は次のとおりである。

- +変容5名(上位群1, 中位群3, 下位群1)
- 変容5名(上位群1, 中位群2, 下位群2)
- 変容なし32名(上位群9, 中位群13, 下位群10)

4. あなたは、問題などを解いていて、つまづくことが多い方ですか、少ない方ですか。

- ア つまづくことが少ない
- イ どちらかといえば、つまづくことが少ない
- ウ どちらかといえば、つまづくことが多い
- エ つまづくことが多い

後 \ 前	ア	イ	ウ	エ	計
ア		1			1
イ	2	10	6		18
ウ		3	14	3	20
エ		1	1	1	3
計	2	15	21	4	42

有意差は認められなかったが、上位群では、ウまたはエと回答した生徒が、事後の調査で2名増えている。これは、「学習プリント」を使っての授業、更にもその結果を自己評価し「自己評価票」に記入することを通して、「つまずき」をより意識したものと思われる。

- +変容10名(上位群2, 中位群3, 下位群5)
  - 変容7名(上位群4, 中位群2, 下位群1)
  - 変容なし25名(上位群5, 中位群13, 下位群7)
- 下位群の生徒の「+変容」が、他群に比べて大きい。

上位群の生徒の中に、「-変容」したのが4名いる。これらの生徒は、自己に対しきびしく、自己の要求水準が高いためと考える。事後の調査でエと回答した3人の事後テストの平均正答率が93%であることは、それを裏付けている。

5. あなたは、つまずいたり、わからないことがあった場合どうしますか。

- ア そのままにしておかないで、教科書などで調べたり、先生や友だちに聞くなどして解決する
- イ そのままにしておくこともあるが、どちらかといえば、教科書などで調べたり、先生や友だちに聞くなどして解決することが多い
- ウ どちらかといえば、そのままにしている
- エ そのままにしている

後 \ 前	ア	イ	ウ	エ	計
ア	7	5			12
イ	5	14	3		22
ウ		2	6		8
エ					0
計	12	21	9	0	42

有意差は認められなかった。

事前の調査でアまたはイと回答した生徒が全体の80%近くおり、つまずいた場合の取り組みの姿勢ができていない生徒が多く、そのため事後の調査での変容はほとんどなかったと考えられる。

- +変容8名(上位群3, 中位群2, 下位群3)
- 変容7名(上位群3, 中位群4, 下位群0)
- 変容なし27名(上位群5, 中位群12, 下位群10)